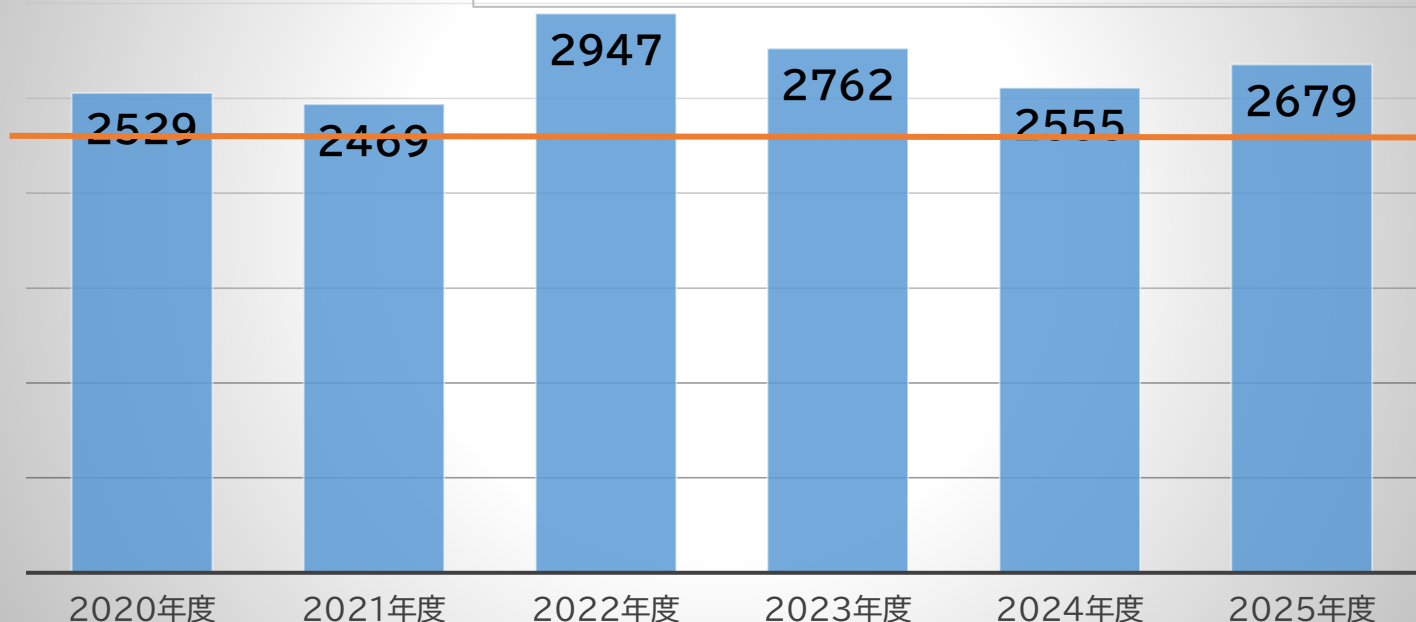


## 影響レベル

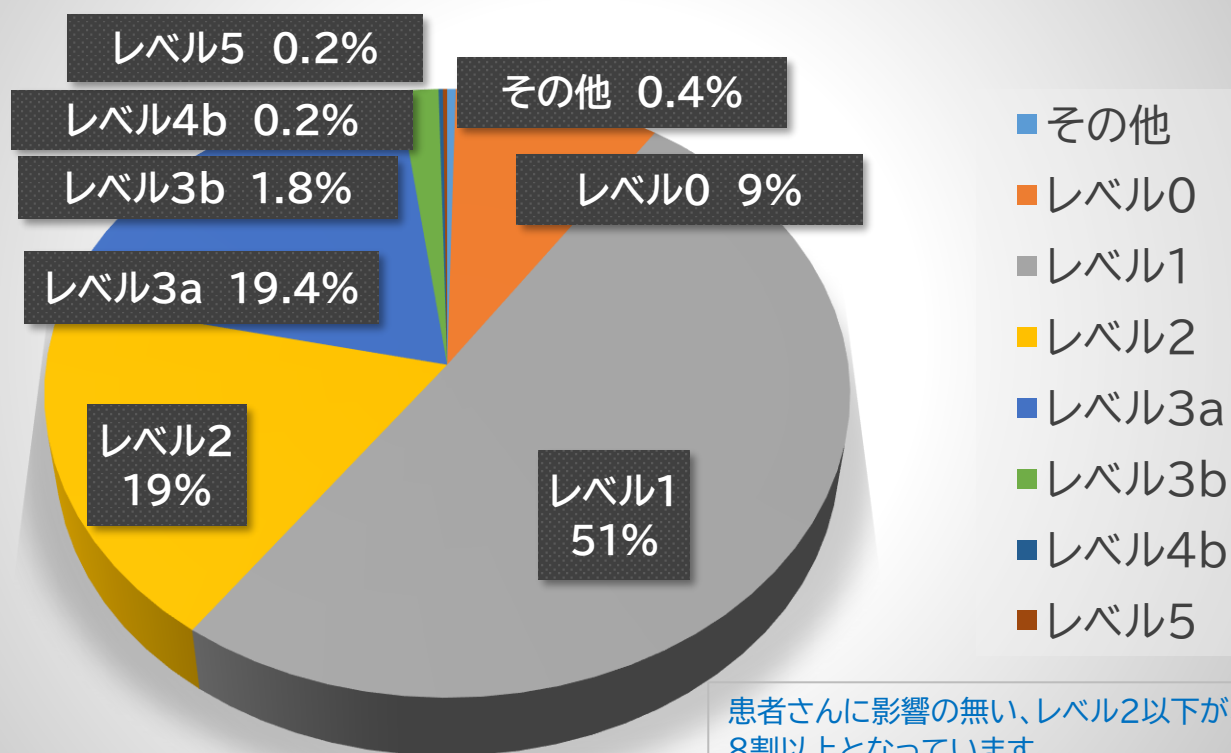
レベル0	エラーや医薬品・医療用具の不具合が見られたが、患者には実施されなかった
レベル1	患者への実害はなかった(何らかの影響を与えた可能性は否定できない)
レベル2	処置や治療は行わなかった(患者観察の強化、バイタルサインの軽度変化、安全確認のための検査などの必要性は生じた)
レベル3a	簡単な処置や治療を要した(消毒、湿布、皮膚の縫合、鎮痛剤の投与など)
レベル3b	濃厚な処置や治療を要した(バイタルサインの高度変化、人工呼吸器の装着、手術、入院日数の延長、外来患者の入院、骨折など)
レベル4a	永続的な障害や後遺症が残ったが、有意な機能障害や美容上の問題を伴わない
レベル4b	永続的な障害や後遺症が残り、有意な機能障害や美容上の問題を伴う
レベル5	死亡(原疾患の自然経過によるものを除く)
その他	その他

## 年度別レポート提出件数

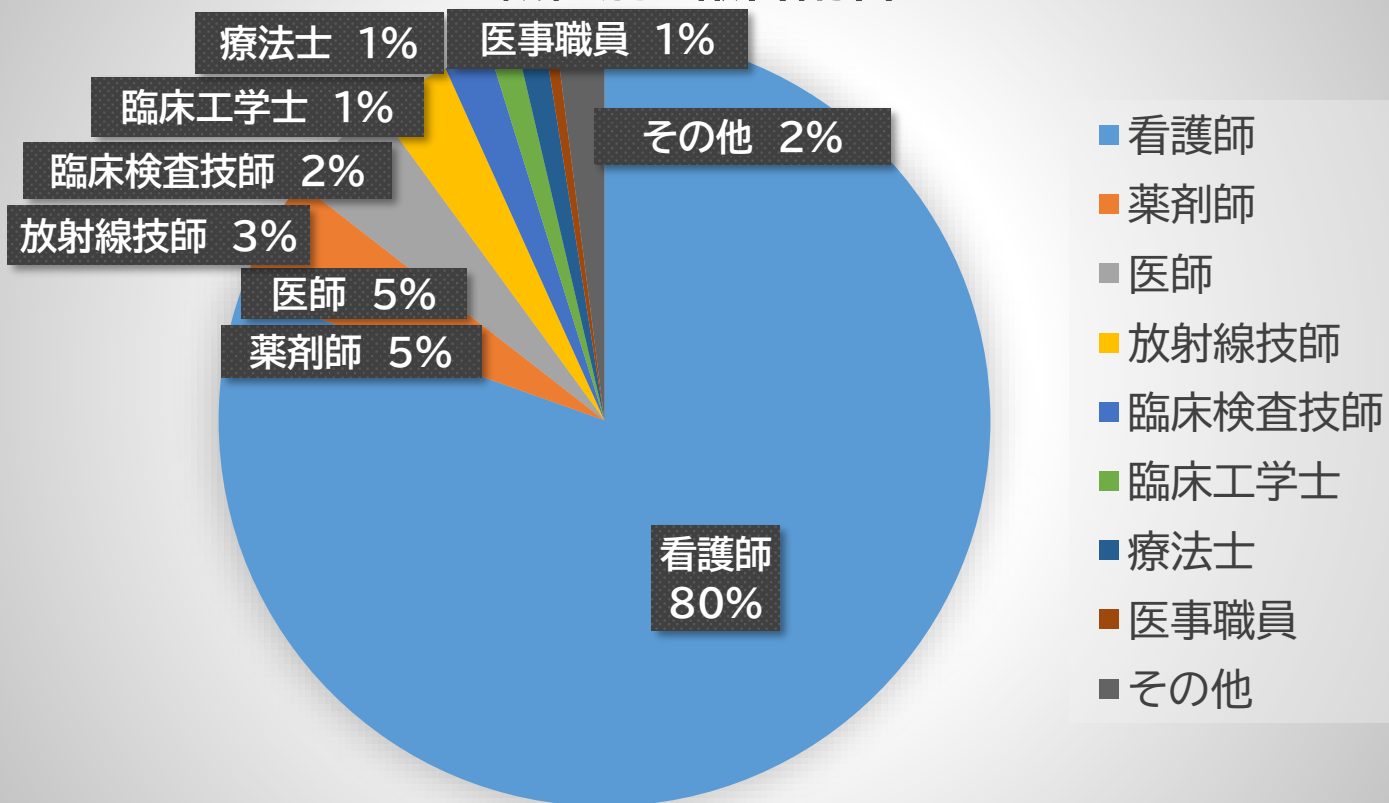
病床数×5以上の報告があると、透明性のある病院と言われています。  
当院における指標は2300以上です。



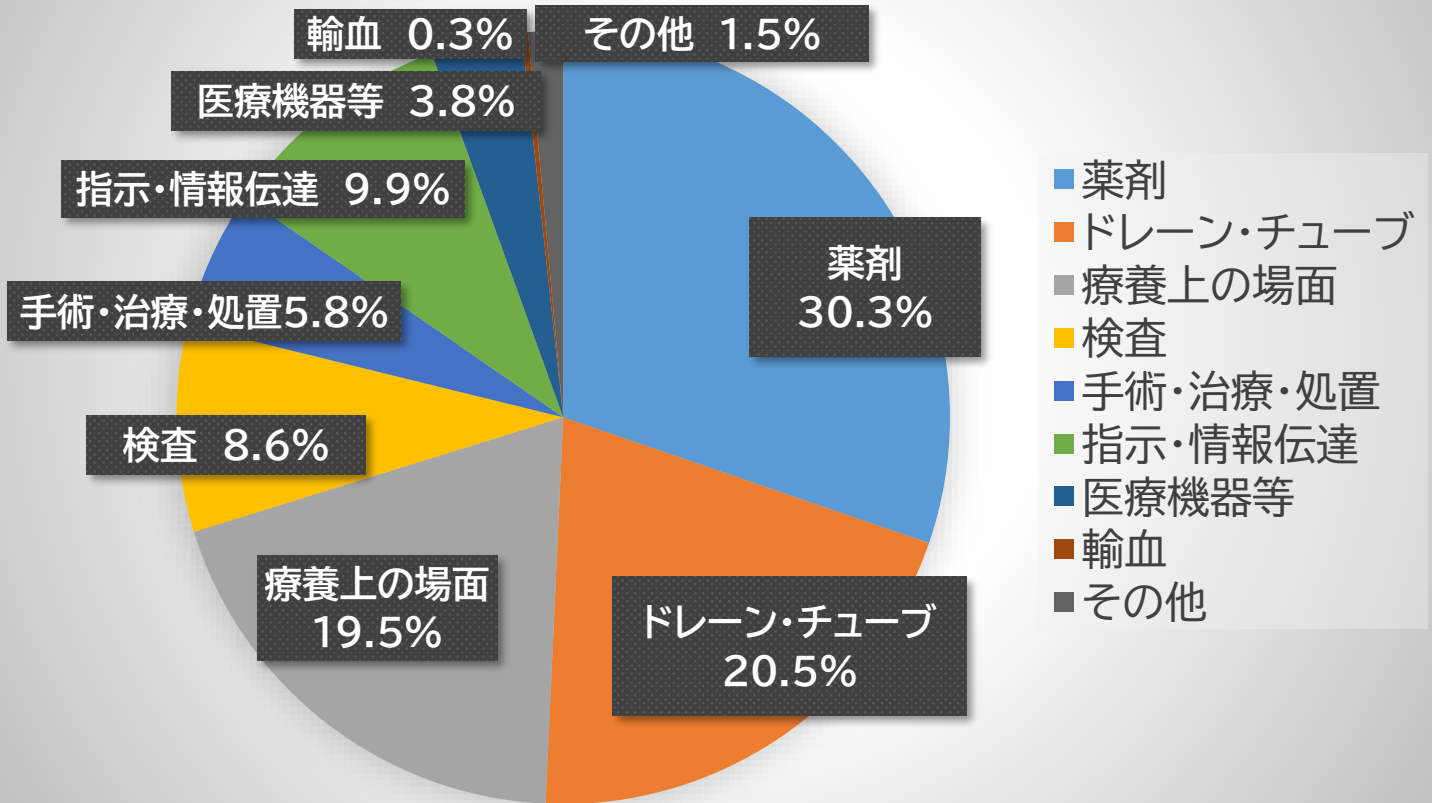
## 影響レベル別 報告割合



## 職種別 報告割合

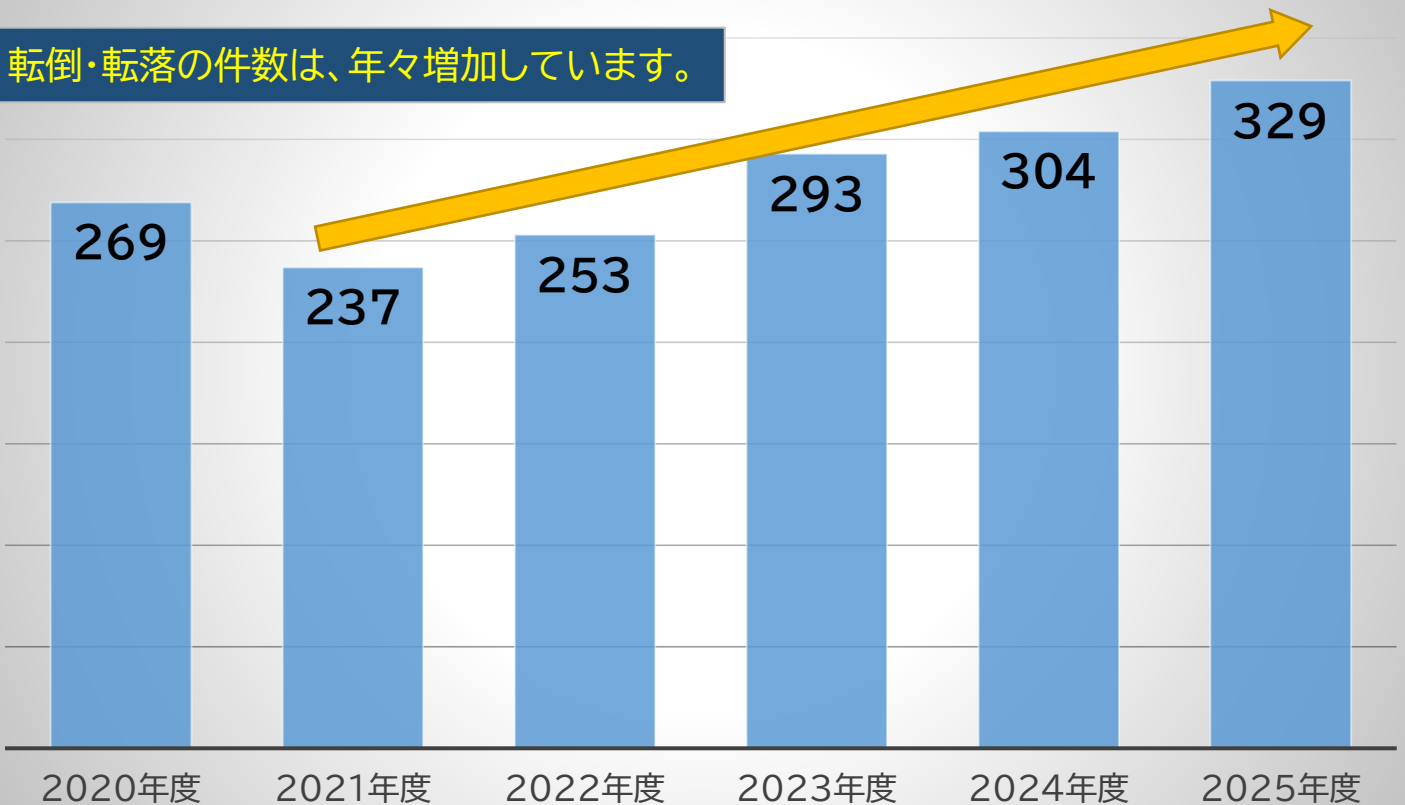


## 内容別 報告割合



## 年度別 転倒・転落件数

転倒・転落の件数は、年々増加しています。



## 年代別 転倒・転落件数

全体の70%以上が、70歳以上です。

過去5年で**3b以上**は、全て70歳以上です。



ご入院される方は、  
『転倒転落防止のために』の動画を  
ご視聴ください。